

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：夕佳ゆめみがさき	種別：特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）		
代表者氏名：岡田 雷太	定員（利用人数）：80名		
所在地：〒212-0057 川崎市幸区北加瀬2-11-5			
TEL：044-580-3870			
ホームページ： https://www.nre.co.jp/nres/shinkawasaki/yuka/tabid/614/Default.aspx			
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：2018年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社エヌアールイーサービス			
職員数	常勤職員：25名	非常勤職員：34名	
専門職員	（専門職の名称）	名	
	介護福祉士	16名	介護支援専門員 2（1名生活相談員兼務）名
	生活相談員	2（1名介護支援専門員兼務）名	看護師 3名
	理学療法士	1名	歯科衛生士 1名
	管理栄養士	1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）	
	個室 80室	食堂兼リビング（2、3、4階） 浴室 5室 便所 各個室、各階共用部 洗面設備 各個室 健康管理室 談話コーナー 応接室・面談室（兼理美容室） 事務室 宿直室 洗濯室（1、2、3、4階） 汚物処理室（2、3、4階） 看護・介護職員室（2、3、4階） 多目的室 健康・生きがい施設（1階、ホールラウンジ、地域交流室、屋上、屋上庭園） 家族宿泊室（2階） エレベーター 2基 スプリンクラー（各個室及び共用施設）	

③理念・基本方針

<理念>

1. いつまでも住み続けられる自宅
2. 自由と希望を追い続けられる生活
3. 自分自身を磨き続けられる職場

<基本方針>

●例えご自宅で生活することが困難となっても…愛着のある街に誇りと尊厳を持って住みつけられる「住み替えた自宅」と感じていただけるよう、変化してゆく心身の状態に寄り添いながら

お一人おひとりの人生をサポートして参ります。

④施設・事業所の特徴的な取組

●「夕佳ゆめみがさき」は平成30年4月1日に設立された特定施設入居者生活介護であり、株式会社エヌアールイーサービス（JR東日本関連企業）の運営です。「夕佳ゆめみがさき」が位置する川崎市幸区北加瀬は、JR東日本グループが幸区北加瀬2丁目の社宅跡地の再開発として「多世代が交流できるまちづくり」として賃貸住宅や商業施設の他、子育て支援と高齢者福祉の複合施設「COTONIOR(コトニア）」（子ども(codomo) + と(to) + シニア(senior) から生まれた造語)として取り組み、JR東日本グループが推進している沿線活性化事業（HAPPY CHILD PROJECT）の一環として開発された地域です。「夕佳ゆめみがさき」に隣接する加瀬山へのアプローチ道はヤマブキや桜並木が彩り、かつては東京湾まで一望できたこの丘は現在、大部分が夢見ヶ崎公園・動物公園となり、他に神社、古墳や貝塚等、歴史的な古代産物が見られます。コトニアガーデン新川崎は、多年齢層が創造する新しいミニタウンとして商業、学習、医療等の施設と一体的な運営を図り、その中で高齢者も地域の一員として町の中で暮らし続けていくコンセプトを「夕佳ゆめみがさき」で実現させています。川崎市内でも市長をはじめとして注目し、モデル地区として認識されています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 9月 20日（契約日） ～ 2020年 10月 6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【『NRE新川崎 弥生テラス』のコンセプト】

●「NRE新川崎弥生テラス」は、コトニアガーデンの重要な1施設という位置付けであり、高齢者に優しい介護事業所の3つの集合体を称しています。「夕佳ゆめみがさき」は介護付の有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）で、入居者は医療を除いた介護について施設で支援し、医療に関しては提携医療先の医師の診療を受診できます。食・住については施設内で提供し、ファッションやカフェ、買い物等はコトニアガーデンに出かけて自ら楽しめることができ、これこそがコンセプトであり、まちの中で自分らしく暮らし続けられるよう「住み替えた自宅」を実現させています。「夕佳ゆめみがさき」の他、2つの介護事業所は、看護小規模多機能型居宅介護事業所の「和音」や居宅介護事業所の「きびたき」は地域に向けた介護サービスであり、コン

セプトに則り地域密着型で展開しています。

2. 【『夕佳ゆめみがさき』のセールスポイント】

●有料老人ホームとして、ホスピタリティ溢れる入居者の立場に立った工夫を随所に施し、入居者一人ひとりへのDelightを追求し、施設内は木の温もりと安全に配慮した快適な明るい住空間と、安らぎのある日々を提供しています。特徴の1つとして「食」にこだわり、豊かな食生活の充実に力を入れ、入居者の満足感、幸福感を味わえるよう毎日・毎食、選択できるようにして食事の楽しみにつなげています。さらに、個々の食事管理を徹底し、要望に応じた献立作りと美味しい食事を提供しています。こまやかなサービスも手厚い体制の基に成され、「夕佳ゆめみがさき」の介護・看護職員の人員配置は2：1以上の体制の整備を推進し、様々な専門職員と施設スタッフを配置して入居者一人ひとりの生活を支えています。また、1階の「地域交流室」では地域の方も気軽に立ち寄ってもらえるよう開放し、外へ続くウッドデッキはオープンカフェのような雰囲気です。自然と人が集まります。様々なイベント等を企画・開催し、非日常的な味わいを地域の方と共有しながら人とのつながりを日々の生活に展開できるよう支援しています。

◇改善を求められる点

1. 【更なる職員の質の向上】

●「夕佳ゆめみがさき」の開設時、法人系列施設「NRE大森弥生ハイツ」で培った経験値の高い職員を核にして体制を固め、業務等の標準化を目指して研修を重ね、順調にスタートをきっています。また、職員と入居者の1対1のケアについては、施設長の適切な指導により入居者も満足している様子が見えました。しかし、施設のサービス内容、設立のコンセプトについては同じ介護付き有料老人ホームの「NRE大森弥生ハイツ」とは環境等も異なり、全職員で新たに「夕佳ゆめみがさき」ならではのケアの確立が必要です。目標では、①「利用者個別ニーズに対応するための人数を増やす」、②「利用者個別ニーズに対応するための職員の意識を育てる」、③「運営方針、理念を堅持し続け、利用者・職員双方が納得いく状況にする」ことを掲げ、日々研鑽に努めています。さらなる「夕佳ゆめみがさき」の体質改善に向けた実践に取り組み、職員の質の向上を進め、「夕佳ゆめみがさき」としてのケアがより充実していくことを期待しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 夕佳ゆめみがさき

施設長： 岡田 雷太

<評価に取り組んだ感想>

事業所として初の機会であったが、新規開業から徐々に軌道に乗せていく過程で自ら課題としているものだけでなく、客観的視点から評価を得られたことは、事業所が育つための具体的な課題設定が出来、発展するための足がかりとなり有益であった。

<評価後取り組んだ事として>

1. 次年度計画策定に際し参考として、「サービスの質の向上」を総合テーマに設定した。

2. 委員会組織を見直し構成員再編、取り扱う課題設定を行った。

3. 事業所の重要な部分「食」についてニーズの高さを再認識し、更に満足度の高い提供内容とすべく、食事委託会社（親会社）との連携を強化し、又、入居者意見の吸い上げも積極的に行っている。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり